



「ストップ・ザ・無縁社会」

# 地域での支え合い

<http://stop-muen.jp>

## TOPICS

### 広がる！ 地域での支え合い！

県内各地で、「地域での支え合い」を合言葉に地域フォーラムが開催されているよ。

地域住民をはじめ、民生委員・児童委員、行政、社協、社会福祉法人・施設、NPO・ボランティアなど多様な主体がつながり、支え合うことが大切だね。

各市町での地域フォーラムの様子を紹介するよ。



### ふくしの(輪)～出かけよう！福祉まつりに～

加東市では、9月8日に「第12回かとう福祉まつり」を開催し、約700人の市民が参加しました。

今年はボランティアグループの中から「福祉まつり部会」を作り、福祉まつりに出かけたいという全体企画を一緒に考え、〇×クイズ大会やスタンプラリーを実施しました。スタンプラリーでは、ボランティアグループによる出し物や福祉体験コーナー、福祉機器の展示や東北・熊本物産展など、各催し物を楽しんで回ってもらうことができました。また屋外では、障害者作業所や地元高校生による販売もあり賑わいました。

午後からは、市主催の地域ケア市民フォーラムがあり、大道芸人たつきゆうさん(田久朋寛氏)による講演「認知症の方へ笑顔でやさしく接するコツを掴もう」もあり、みんなで地域の支え合いの大切さについて考えました。



高齢者体験セットでレッツ福祉体験！

### 地域に広がり「子ども食堂」

赤穂市では、9月22日に地域福祉セミナー「子ども食堂(居場所)を考える」を開催し、市内外から115名が参加しました。

基調講演では「『なんとかする』子どもの貧困」と題し、社会活動家・法政大学教授の湯浅誠氏より、「自分に何ができるのか」と難しく考えず、まずは“行くだけの支援”があることをお話いただきました。またシンポジウムでは、市内で開催されている子ども食堂2カ所の代表者、県内先進地の一つである明石市の職員と、湯浅氏に登壇していただき、子ども食堂の現状や課題について一緒に考えました。



### 「住民参加のまちづくり」を進めるために

佐用町では、9月29日に「佐用町地域福祉研修会・認知症フォーラム」を開催し、住民や福祉関係者など約220名が参加しました。

第1部では「徘徊～ママリン87歳の夏～」という認知症ドキュメント映画を上映。続く第2部では、介護者と地域の支援者で「もっとやさしいまちになるために」をテーマにパネルディスカッションを行い、「ひとり」ではなく、周囲と「支え合う」ことの大切さを登壇者の思いにのせて、参加者に伝えました。

「やさしいまち」になるために、私たちに何ができるかをみんなで一緒に考える良い機会となりました。

